

麻賀多神社由来

御鎮座地

千葉県成田市台方字稷山一番地

御祭神 稚産霊命（ワクムスビノミコト）

古事記・日本書紀には、日本の国造りの神で、五穀の神様であり、産業を司る神として記されています。（古事記では和久産巢日神と記されています）
また、この神社の社紋は麻の葉をデザインされており、最近まで赤ちゃんの産衣（うぶぎ）に麻の葉を入れて健やかなる成長を祈願しており、お子様の守り神でも在らせられます。
伊勢神宮の内宮（天照大神）の姉神で、外宮（豊受大神）は子神と記されており、香取神宮の御祭神（経津主命フツヌシノミコト）と鹿島神宮の御祭神（武甕槌命タケミカヅチノミコト）は弟神であります。

御由来

今から千七百余年前、印旛国造（当時の大和朝廷の地方長官）であった伊都許利命（イツコリノミコト）が、現在の地に麻賀多大神として崇め、以降近隣の麻賀多十八社の惣社として、また地元の鎮守様として広く皆様から崇敬されてまいりました。尚、平安時代中期に制定された国家の法制書である「延喜式」神名帳には、国幣社・麻賀多神社と記されている延喜式内社であります。往時勅使として大伴家持（おおともものやかもち）も参拝されております。この由緒ある神社の境内の神秘さは今の多くに参拝者の感動を誘っております。

御神木

境内左奥にある、東日本一の大杉（御神木）は、樹齢千三百有余年、昭和十年、千葉県指定記念樹第一号に指定されました。古来より御神木には心霊が宿っていると言い伝えられ、延命長寿の御利益を授かることでも有名です。

主要祭典

歳旦祭	一月一日	例大祭	七月最終日曜日斎行
筒粥祭	一月十四日	勤労感謝祭	十一月二十三日
節分祭	二月上旬	大祓祭	十二月三十一日
祈年祭	二月十七日		
御田植祭	四月十五日		

◎各種ご祈祷は、随時受付ております。お電話で結構ですので、左記までご連絡下さい。

麻賀多神社社務所 連絡先（電話&FAX）0476（28）5736